

訂正表

以下のとおりお詫びして訂正いたします。

P 14

行	誤	正
7	(2) 会計実体の公準	(2) 企業実体の公準
12	これらの空間的範囲のことを 会計実体 というが、会計情報を作成するためには、 会計実体 の存在が不可欠であり、会計情報の背景には必ず 会計実体 が存在している。	これらの空間的範囲のことを 企業実体 というが、会計情報を作成するためには、 企業実体 の存在が不可欠であり、会計情報の背景には必ず 企業実体 が存在している。
15	会計行為を行う前提として、このような 会計実体 が存在しなければならないことを 会計実体の公準 という。	会計行為を行う前提として、このような 企業実体 が存在しなければならないことを 企業実体の公準 という。

P 15

図表 1-2	会計実体 の存在	企業実体 の存在
-----------	-----------------	-----------------

P 93

4	そこで、企業集団を1つの会計単位(会計実体)として作成する財務諸表が連結財務諸表である。	そこで、企業集団を1つの会計単位(企業実体)として作成する財務諸表が連結財務諸表である。
---	---	---

P 204

3	(2) ② 会計実体	(2) ② 企業実体
---	-------------------	-------------------

P 209

右 4	会計実体	企業実体
右 5	会計実体の公準	企業実体の公準